

## 地域貢献



このセッケンは須磨海岸清掃グループが受賞した第1回〈わ〉功労グループ賞の副賞（右写真）で作りました

## 須磨海岸清掃 続けて19年目

平成11年 発足時のメンバーと活動の様子を伝える8月3日付神戸新聞神戸版の記事



こどもが目立つ須磨海岸清掃  
神戸市須磨区にある須磨海岸の清掃活動は、今年も7月28日（日）に開催された。須磨区民の清掃活動は、今年も7月28日（日）に開催された。須磨区民の清掃活動は、今年も7月28日（日）に開催された。

グループ賞第1回  
功労グループ賞



海水浴シーズンの7・8月は毎月曜日、オフの4・5・6・9・10・11月は月末に1回赤灯台から東へ約300mの範囲のゴミを拾う

発足以来この7月3日まで18年3月余に延べ230日、延べ2072人が活動している

写真は今年最初の活動に参加したメンバー



## 神港園 サニーライフ白川 浴後ケア 続けて18年目

通年週2日の活動 これまでに参加した会員39人、現在は7人、メンバー補強が課題



震災後 白川台に建設された復興住宅でふれあい喫茶を開いたKSカレッジ同窓生の「くろふく味」と須磨区会が合流し、設立直後の《サニーライフ白川》で平成12年から活動を開始

施設とボランティアとの意思疎通を図るため懇談会を定期的におこなっている

平成28年度神戸市社会福祉大会で理事長から感謝状を贈呈された  
写真の左上に感謝状の額が見える

安定して活動するためメンバーの補強に迫られている

## 神戸大学医学部保健学科 老人モデル

平成13年から13年続けて5~14人が参加 とくに高齢者が歓迎された



## 名谷すみれ苑 外出行事付添い

初詣で・お花見・新緑の遠足・紅葉狩りなど四季の外出行事に 年間10~20日、1日当たり2~5人が付添っている  
参加者にはリピーターが多いが、むしろスポットの参加を勧めている  
これまでの15年間に参加した会員はおおよそ80人になる



ほかに夏祭りなどの催しと俳句指導にも参加

## 青陽須磨支援学校 付添いサポート 続けて7年目

同校創立から3年後の平成23年に 本部へサポート依頼があり 多くの理事が参加したのが始まり  
翌年から当区会が全面的に引き受けている  
例年9月末の1週間が同校のトライやるウィークに充てられ、中学生2年の25人前後が参加する  
期間中延べ20~50人がサポートに参加 男子生徒には男性 女子生徒には女性が付添って1対1で  
職場体験に付き添う  
主な受入れ事業所としては 神出自然教育園、須磨海浜水族園、地下鉄名谷基地、北須磨文化センター  
などの公共施設のほか びーたんはつす、じゅうしん須磨寺などの福祉施設もある  
学校では5月頃から 家族との相談 受入れ事業所との交渉など慎重に準備を進めておりサポーターの  
依頼もそれに合わせて行われる



初めてサポートに参加した多くの者がこう語っている  
「トライやるに向けて先生方が 生徒それぞれの器性と能力に見合う準備を保護者や受入れ先と十分に話し合っていて決めていることを知り感謝」  
「生徒に対する周囲の配慮を間近に見るにつけ 同じ地域に住む者として この程度のお手伝いはしなればと思った」

## 須磨パティオ お買いものサポーター

《潮OMこうべ》と契約の有償ボランティア活動 4年目



毎週木曜日10:30~16:00  
2人づつ常駐してお年寄りやお子様連れなどのお買いものをサポート

契約メンバーは現在13人で  
月間2回のローテーション

親しんで利用してもらえよう  
努めている